

32 超重症児の手術件数

▶ 項目の解説

「超重症児」とは食事機能、呼吸機能、消化器症状の有無などの項目により、より高度でより濃密な医学的管理を必要とされた小児のことです。超重症児を手術するには通常の小児の手術に比べ、より高度な医療技術と患者管理が必要となります。小児科外科や麻酔科の医療の質の高さを表す指標です。

▶ 定義

「A212-1イ 超重症児(者)入院診療加算(6歳未満)」算定件数。

